



第72回

# 全国植樹祭

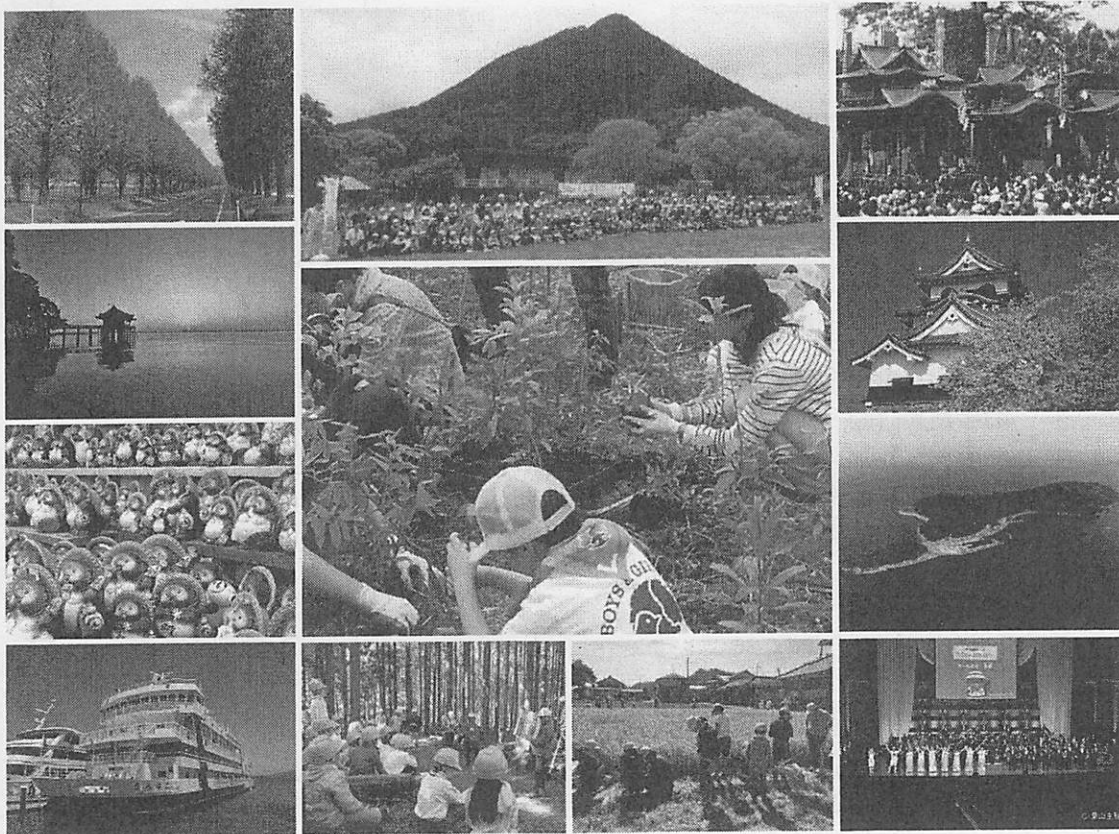


木を植えよう びわ湖も緑のしずくから

開催年を修正  
(2021→2022)

## 実施計画 (素案)

※基本計画(令和2年1月策定)からの追加・修正箇所を赤字で記載



## 第1章 開催概要

- 1 開催意義
- 2 滋賀県における全国植樹祭の開催状況
- 3 開催理念
- 4 開催方針
- 5 大会テーマ
- 6 シンボルマーク
- 7 大会ポスター原画
- 8 開催会場
- 9 主催
- 10 開催規模
- 11 開催日

## 第2章 式典行事計画

- 1 基本的な考え方
- 2 式典演出計画
- 3 式典運営計画
- 4 式典進行プログラム
- 5 音響・映像システム計画
- 6 式典演出準備スケジュール

## 第3章 植樹行事計画

- 1 基本的な考え方
- 2 お手植え計画
- 3 お手播き計画
- 4 代表者記念植樹計画
- 5 招待者記念植樹計画
- 6 植樹要領
- 7 植樹会場整備計画

## 第4章 会場整備計画

- 1 基本的な考え方
- 2 施設配置図・イメージ図
- 3 主要施設計画
- 4 案内・誘導計画
- 5 電気・給排水・通信設備計画
- 6 飾花計画

## 第5章 運営計画

- 1 基本的な考え方
- 2 招待計画
- 3 招待者行動計画
- 4 受付計画
- 5 会場内動線計画
- 6 特別接伴計画
- 7 湖国「滋賀」のおもてなし・魅力発信
- 8 サテライト会場等計画
- 9 医療・衛生計画
- 10 消防・防災・警備計画
- 11 実施本部計画
- 12 研修リハーサル計画
- 13 雨天時・強風時対応計画

## 第6章 宿泊・輸送等計画

- 1 基本的な考え方
- 2 宿泊計画
- 3 輸送計画
- 4 運行管理体制・緊急時対応
- 5 道路交通対策

## 第7章 荒天時計画

- 1 基本的な考え方
- 2 開催会場
- 3 開催規模
- 4 荒天時運営計画

## 第8章 記念事業等計画

- 1 基本的な考え方
- 2 記念事業
- 3 関連事業

## 第9章 広報・協賛計画

- 1 基本的な考え方
- 2 広報計画
- 3 協賛計画

## 1 開催意義

本県は、すべての県民が森林づくりに主体的に参画し、長期的な展望に立ち、森林の持つ多面的機能が持続的に発揮されるよう、緑豊かな森林を守り育て、琵琶湖と人々の暮らしを支えるかけがえのない滋賀の森林を健全な姿で未来に引き継ぐことを決意し、平成16年(2004年)に「琵琶湖森林づくり条例」を施行しました。

また、その翌年の平成17年(2005年)には、この条例の理念を実現するため、琵琶湖と人々の暮らしを支える森林づくりの推進を基本方向とする「琵琶湖森林づくり基本計画」を策定し、県民をはじめ多様な主体とともに、森林・林業に関する様々な取組を展開することとしました。

さらに、平成29年(2017年)には成熟期を迎えた森林資源を循環利用するため、県、市町、関係者等、様々な主体が一体となって取り組むを講ずるための具体的な行動計画として「しがの林業成長産業化アクションプラン」を策定し、林業の成長産業化に向けた取組を進めているところです。

一方、平成27年(2015年)に成立した「琵琶湖の保全及び再生に関する法律」では、琵琶湖が「国民的資産」と位置づけられたところであり、平成29年(2017年)3月にはこの法律に基づく「琵琶湖保全再生計画」を策定し、琵琶湖とその水源となる森林を守り活かしていく政策を本格的に進めていくこととしました。

こうした中で、令和4年(2022年)に開催する全国植樹祭は、本県の魅力や琵琶湖と森林とのつながりを活かした取組を全国、さらには世界に向けて発信する絶好の機会とし、滋賀ならではの特色ある有意義な大会にしていきたいと思います。

## 2 滋賀県における全国植樹祭の開催状況

滋賀県では、昭和50年(1975年)5月25日、栗太郡栗東町金勝山(現在の栗東市)において、天皇皇后両陛下をお迎えし、「水と緑のふるさとづくり」を大会テーマに、第26回全国植樹祭を開催しました。

この大会では、天皇陛下がヒノキの苗木を、皇后陛下がモミジの苗木をお手植えになるとともに、前日には坂田郡山東町夫馬(現在の米原市)において、天皇陛下がヒノキの種子を、皇后陛下がモミジの種子をお手播きになりました。

また、約1万人の参加者により、ヒノキ、マツ、ケヤキ、サクラなど14種類、約1万4千本の苗木が12ヘクタールの敷地に記念植樹されました。

金勝山の式典会場は、現在、県有の森林公園「滋賀日産リーフの森※<sup>1</sup>(県民の森)」として県民等に親しまれています。

昭和50年(1975年)開催された第26回大会の様相



天皇陛下のおことば



天皇陛下お手植え



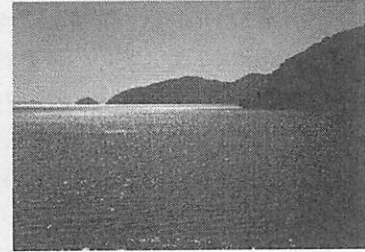
皇后陛下お手植え

※<sup>1</sup> 滋賀日産リーフの森: 県立の森林公園「県民の森」のネーミングライツ(命名権)を滋賀日産自動車株式会社が取得し愛称としたもの。

## 3 開催理念

基本構想・基本計画で検討済み  
(加筆修正は可能)

日本列島のほぼ中央に位置する滋賀県は、琵琶湖を中心に抱き、周囲を山々に囲まれた水と緑が豊かな県です。雄大な山々とその頂から眼下に広がる壮大な琵琶湖は、我が国最大の湖ならではのダイナミックな景観を形成するとともに、多種多様な彩りを見せる森林と碧く輝く琵琶湖は、一体となって四季折々の風景を作り出しています。



山々に降り注ぐ一滴は、やがて川となって田畑や里地を潤しながら、琵琶湖へと流れ込み、琵琶湖の豊かな生態系を育んでいます。県土の2分の1を占める滋賀の森林は、琵琶湖の水源として貴重な役割を果たすと同時に、土砂の流出を防ぎ私たちの生活や財産を守るなど、様々な恩恵を与えています。また、400万年もの歴史を有する琵琶湖は、私たち滋賀県民と琵琶湖の下流域に住む京阪神1,450万人の暮らしを支える水源であるとともに、60種以上もの固有種を含む貴重な自然環境および水産資源の宝庫となっています。

森林と私たちの暮らしのかかわりを振り返ると、古代より、奈良や京都そして滋賀の壮麗な宮殿・社寺の建設には、滋賀の木材が多く利用されてきました。また、中世・近世・近代にかけて、人々は貴重な森林資源を巡り、争い、話し合い、力を合わせるというドラマを展開してきました。一方、県内には山村地域を中心に、森林と共存してきた木地師や杣人としての暮らし、山の神に対する信仰や祭礼など、多種多様な森林文化が根付いています。木を植え、育て、伐って利用し、また植えるという先人たちの取組は、まさに持続可能な森林づくりの礎であり、現在に暮らす私たちもしっかりと次の世代に受け継いでいく必要があります。また、「せっけん運動<sup>※1</sup>」をはじめ、湖岸の清掃やヨシ刈りなど琵琶湖の環境保全に熱心に取り組む姿勢や、琵琶湖の下流域で水を利用する人々を気遣う思いやりの精神は、滋賀の県民性として私たちの暮らしの中に定着しています。



森 - 川 - 里 - 湖のつながり

<sup>※1</sup> せっけん運動:琵琶湖で1977年(昭和52年)5月に淡水赤潮が大規模に発生し、この淡水赤潮の原因の一つが合成洗剤に含まれているリンに起因していたことから、県民が主体となって合成洗剤の使用をやめ、粉石けんを使おうとした運動。

基本構想・基本計画で検討済み  
(加筆修正は可能)

このような中、「琵琶湖の保全及び再生に関する法律」において、琵琶湖が「国民的資産」と位置づけられました。また、国連で採択された「SDGs(持続可能な開発目標)※2」の視点も活かしながら、本県として持続可能な社会の実現を目指していくこととしました。これらを踏まえて、様々な主体との協働により、琵琶湖を保全・再生するとともに、その水源である森林を守り、育て、そして木材として積極的に使うことで、持続可能な滋賀の森林づくりを推進していくこととしています。

私たちは、第72回全国植樹祭の開催を通じて、県民一人ひとりが山や木に直接触れ、森林について考える機会を増やすとともに、森林・林業や農山村に対する意識醸成と県産材の利用促進、将来を見据えた持続可能な森林づくりなど、県民が一丸となって森林を「守る」、「活かす」、「支える」ことで、これらを一体的に推進する「やまの健康」につながる本県らしい取組を進めていきます。

これらのことを踏まえ、以下の開催理念のもと、第72回全国植樹祭を開催します。

## 第72回全国植樹祭開催理念

私たちは、ふるさと滋賀の地域特性である「森—川—里—湖」のつながりと、いにしえより培われてきた「森林」、「びわ湖」、「人(暮らし)」のかかわりを再確認し、将来を見据えながら森林を守り、活かし、これらの取組を支えることで、碧(あお)く輝くびわ湖と健全で緑豊かな森林を、次の世代、その次の世代へと持続的につないでいきます。

※2 SDGs(持続可能な開発目標):平成27年(2015年)9月の「国連持続可能な開発サミット」で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に掲げられた17の目標から構成される人間、地球および繁栄のための行動計画。目標の一つである「陸の豊かさも守ろう」には、内陸淡水生態系の保全や森林の持続可能な管理等が掲げられている。



SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS



滋賀県は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

4 開催方針 ～“しがCO<sub>2</sub>ネットゼロ”の大会を目指して～

- (1) 全国植樹祭を通じて、開催理念や本県の魅力等を最大限に発信します。
- (2) 県民総ぐるみで全国植樹祭を盛り上げ、全国から参加される皆さんを「おもてなしの心」でお迎えます。
- (3) 全国植樹祭の開催にあたっては、経費の節減に努めながらも、多様な主体と連携しながら、県民の皆さんと森林に関わる人々の心に残る、滋賀らしい大会となるよう努めます。
- (4) 会場整備や大会運営にあたっては、「しがCO<sub>2</sub>ネットゼロ」ムーブメント<sup>※1</sup>や「滋賀プラスチックごみゼロ・食品ロス削減宣言<sup>※2</sup>」を踏まえ、環境に最大限配慮しながら、「しがCO<sub>2</sub>ネットゼロ」(CO<sub>2</sub>排出量実質ゼロ)の大会を目指します。
- (5) 全国植樹祭の開催を契機とし、開催後も県民総ぐるみで将来を見据えた持続可能な森林づくりを目指していけるよう、SDGs(持続可能な開発目標)の視点を活かした大会とします。

## 第72回全国植樹祭しが2022「環境に配慮した取組事例」

【凡例】 ◆CO<sub>2</sub>ネットゼロ  
★プラスチックごみゼロ・食品ロス削減

- 会場整備にあたっては、既存の施設・設備を最大限に活用するとともに、できるだけ自然環境に負荷を与えないように配慮します。
- 大会で使用する資材等については、持続可能な森林経営により生産された県産木材を積極的に活用します。【◆】
- 植樹に使用する樹種については、本県の気候風土や立地条件に適した樹種を選定するとともに、県内で採取した種子等により育成した苗木を使用するなど生態系への影響に配慮します。
- 植樹の際には、琵琶湖の水草を原料とする堆肥や浄水場で発生した土を活用することで、森林と琵琶湖のつながりや環境保全を意識しながら資源の循環利用に努めます。
- 廃棄物の3R(リデュース、リユース、リサイクル)の徹底、とりわけ大会参加者への物品の提供については、ワンウェイ(使い捨て)プラスチック包装・容器等の使用を極力なくします。【★◆】
- 食べ残しをなくす適量なお弁当の提供や、更新時期を迎えた災害時用備蓄飲料の活用等により、食品ロスの削減を図ります。【★】
- 大会参加者に公共交通機関利用を呼び掛けるとともに、大会運営時における低燃費車両等の利用やエコドライブの推進等により、移動時における環境負荷の低減を図ります。【◆】
- 使用エネルギー削減等によるCO<sub>2</sub>の排出抑制や、植樹活動によるCO<sub>2</sub>吸収量の確保、カーボンクレジット制度の活用等により、「しがCO<sub>2</sub>ネットゼロ」(CO<sub>2</sub>排出量実質ゼロ)の大会を目指します。【◆】

※1 滋賀県では、国内外の動きと協調し、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにすることを目標として、令和2年1月に「しがCO<sub>2</sub>ネットゼロ」ムーブメント」キックオフ宣言を行い、県民、事業者等多様な主体と連携した取組を進めている。

※2 滋賀県および滋賀県買ひ物ごみ・食品ロス削減推進協議会は、ごみを出さないライフスタイルへの転換を目指して、県民、事業者、団体、行政等が役割を分担し、互いに連携・協力しながら、循環型社会の形成に向けた取組を積極的に行い、SDGsの目標達成に貢献していくことを目的として、令和元年8月に「滋賀プラスチックごみゼロ・食品ロス削減宣言」を行った。

## 第72回全国植樹祭しが2022における「SDGs(持続可能な開発目標)」の取組視点

第72回全国植樹祭しが2022は、以下の視点で取り組むことでSDGsの目標達成に貢献します。

ゴール	ターゲット※	該当箇所
4 すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する	4.7 教育を通して持続可能な開発に必要な知識・技術を得られるようにする	第2章 式典行事計画 第3章 植樹行事計画 第8章 記念事業等計画
5 ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う	5.1 女性に対する差別をなくす 5.5 政治、経済、公共分野での意思決定において、女性の参画と平等なリーダーシップの機会を確保する	第2章 式典行事計画 第5章 運営計画 第8章 記念事業等計画
6 すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する	6.6 水に関わる生態系を保護・回復する	第2章 式典行事計画 第3章 植樹行事計画 第8章 記念事業等計画
10 各国内及び各国間の不平等を是正する	10.3 機会均等を確保し、成果の不平等を是正する	第2章 式典行事計画 第5章 運営計画 第8章 記念事業等計画
11 包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する	11.4 世界文化遺産・自然遺産を保護・保全する 11.b 総合的な災害リスク管理を策定し、実施する	第2章 式典行事計画
12 持続可能な生産消費形態を確保する	12.2 天然資源の持続可能な管理及び効率的な利用を達成する 12.3 世界全体の一人当たりの食料廃棄を半減させ、生産・サプライチェーンにおける食品ロスを減らす 12.5 廃棄物の発生を減らす	第2章 式典行事計画 第3章 植樹行事計画 第4章 会場整備計画 第5章 運営計画 第8章 記念事業等計画
13 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる	13.3 気候変動対策に関する教育、啓発、人的能力及び制度機能を改善する	第2章 式典行事計画 第3章 植樹行事計画 第4章 会場整備計画 第5章 運営計画 第6章 宿泊・輸送等計画 第8章 記念事業等計画
14 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する	14.1 海洋汚染を防止・削減する 14.2 海洋・沿岸の生態系を回復させる	第2章 式典行事計画 第3章 植樹行事計画 第5章 運営計画
15 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する	15.1 陸域・内陸淡水生態系及びそのサービスの保全・回復・持続可能な利用を確保する 15.2 森林の持続可能な経営を実施し、森林の減少の阻止・回復と植林を増やす 15.4 生物多様性を含む山地生態系を保全する	第2章 式典行事計画 第3章 植樹行事計画 第8章 記念事業等計画
17 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する	17.17 効果的な公的・官民・市民社会のパートナーシップを推進する	第2章 式典行事計画 第3章 植樹行事計画 第4章 会場整備計画 第5章 運営計画 第8章 記念事業等計画 第9章 広報・協賛計画

※ターゲットは、「すべての企業が持続的に発展するために -持続可能な開発目標(SDGs)活用ガイド- 資料編[第2版] 令和2年3月 環境省」を参考に簡略した形で記載しています。

## (6) 新型コロナウイルス感染症の動向を踏まえ、...

## ★コロナ対応の想定 ※ コロナの動向を踏まえ、開催に向けた方針について記載

## (1) コロナが収束していない場合

→ 感染症対策をしっかりと行い、安全かつ安心して参加いただける大会を目指す。

例) 招待者の規模縮小、マスクの着用やアルコール消毒、3密を避ける方策

(ソーシャルディスタンスの確保等)

## (2) コロナが一定収束している場合

→ コロナ禍以降に開催される全国植樹祭として、新しいモデルとなる大会を目指す。

例) ニューノーマル時代に対応した大会運営(感染症対策等)の実施



## 5 大会テーマ

基本構想・基本計画で検討済み  
(加筆修正は可能)

## 木を植えよう びわ湖も緑のしずくから

全国から応募があった1,730点の作品の中から選定しました。

- 作者：やすおか なおき 保岡 直樹さん（東京都世田谷区）
- 制作意図： 山の木の葉のひとしずくが集まって川となり、清き流れは大地をうるおし、豊かな琵琶湖をはぐくむ。そんな大自然の循環を「緑のしずく」に例えています。“輝く水も、植樹から”という思いを作品にしました。

## 6 シンボルマーク

全国から応募があった393点の作品の中から選定しました。

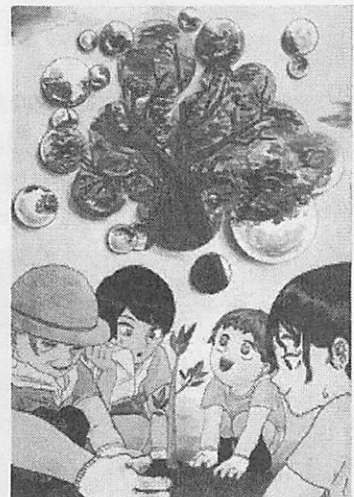
- 作者：まつおか ひでお 松岡 英男 さん（山形県山形市）
- 制作意図： 豊かな緑に包まれて、琵琶湖（県）との一体感、若葉がすくすくと伸びる植樹の喜びと期待感を、県民の喜び顔に象徴して、次世代と次の世代へとよろこびの輪（和）をひろげ繋いでまいります。



## 7 大会ポスター原画

県内の小学校・中学校・高等学校等から応募があった841点の作品の中から選定しました。

- 作者：なかがわ あい 中川 甘苺 さん（滋賀県立栗東高等学校 1年）  
※令和元年度現在
- 画題： 未来につなぐ
- 制作意図： これからも、老若男女を問わず、この先の未来に緑をつないでいきたいという願いを込めました。



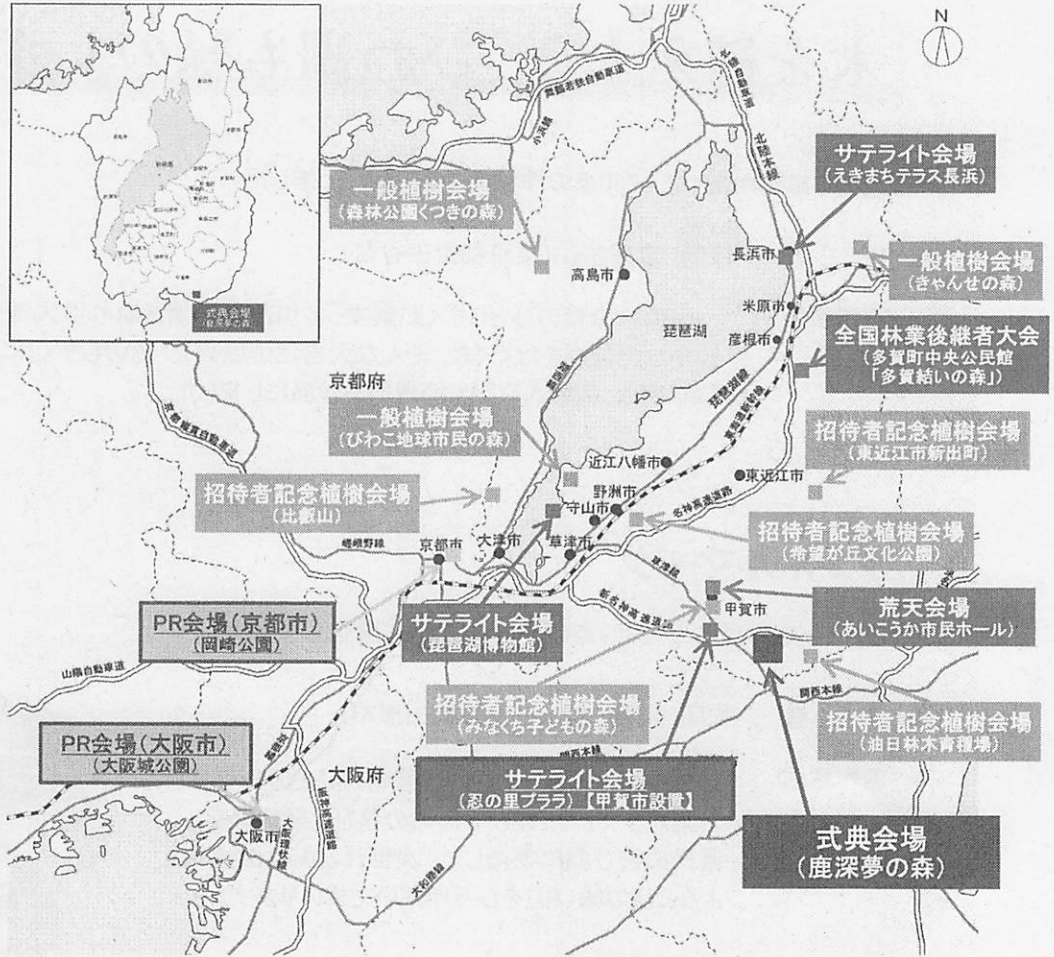
8 開催会場

①素案で一部追加

● 開催会場位置図

<凡例>

- 式典会場
- 招待者記念植樹会場
- 荒天会場
- サテライト会場
- 一般植樹会場
- PR会場
- 全国林業後継者大会



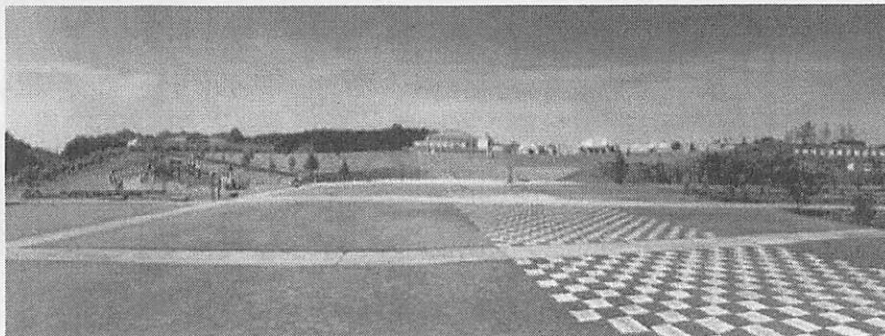
(1) 式典会場

式典会場では、式典行事、天皇皇后両陛下によるお手植え・お手播き行事などを実施します。なお、暴風雨等の荒天時は、荒天会場で規模を縮小して実施します。

かふか ゆめ もり

◆ 鹿深夢の森 (甲賀市甲賀町大久保507 番地2)

琵琶湖の水源地であり、かつ、林業の盛んな地域に位置する「鹿深夢の森」は、扇形の多目的芝生広場を園内中央に有するとともに、敷地内には甲賀図書館やかふか生涯学習館、子育て世代包括支援センター「ここも〜り」なども併設されており、大人から子どもまで幅広く活用できる施設として市民に親しまれています。



## (2) 招待者記念植樹会場

県内外の招待者が記念植樹を行う植樹会場として、式典会場内や近隣地をはじめ、県内各地に設置します。

会場名	所在地
鹿深夢の森(式典会場併設)	甲賀市
比叡山	大津市
油日林木育種場	甲賀市
みなくち子どもの森	甲賀市
希望が丘文化公園	野洲市
東近江市新出町	東近江市

## ★ コロナ対応の想定

・招待者の参加規模を縮小した場合、植樹会場も縮小(または取りやめ)の可能性あり。

## (3) サテライト会場等

県民をはじめより多くの方々と開催理念を共有し、全国植樹祭の開催効果を高めるため、県内各地にサテライト会場や一般植樹会場を設置するとともに、琵琶湖・淀川流域の各地府県にPR会場を設置します。

区分	会場名	所在地
サテライト会場 ※大会当日に開催	えきまちテラス長浜	長浜市
	琵琶湖博物館	草津市
	忍の里プララ 【甲賀市設置】	甲賀市
一般植樹会場 ※大会当日に開催	びわこ地球市民の森	守山市
	森林公園くつきの森	高島市
	きゃんせの森	米原市
PR会場 ※琵琶湖・淀川流域で 大会前に開催	岡崎公園	京都府京都市
	大阪城公園	大阪府大阪市

# 第1章 開催概要

## 9 主催

公益社団法人国土緑化推進機構  
滋賀県

①素案で一部修正

②中間案で一部修正予定

## 10 開催規模

第72回全国植樹祭は県内外から参加する招待者、協力者・スタッフ等を含め、5,000人程度の規模で開催します。ただし、荒天時は縮小します。

参加者区分	参加予定者数	備考
県外招待者	1,100人	国関係者、被表彰者、各都道府県招待者等
県内招待者	1,900人	県議会議員、市町関係者、森林・林業・緑化関係者、実行委員会委員、公募招待者等
本部員・協力員	2,000人	実施本部員、協力員、出演者、運営ボランティア等
合計	5,000人	

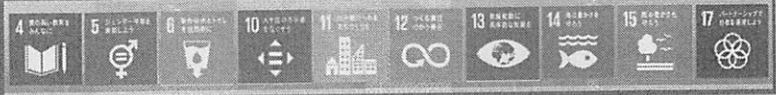
★コロナ対応の想定

・県内外招待者の参加予定者数を縮小する可能性あり  
(参考)島根県 4,000人→1,000人

## 11 開催日

令和4年(2022年) 月 日 ( )

開催日は日程決定後に記載  
(R3.8項の予定)



①素案で一部追加

## 1 基本的な考え方

式典行事は、次の事項を基本として実施します。

- 開催理念を共有するとともに、参加者の心に残る植樹祭とします。
- 式典は、簡素化を図りながらも、厳粛で品格があるものとします。
- 県内外、子どもや高齢者、障害者など、できるだけ多くの方々や、大会に賛同いただいた企業・団体等が参加できるよう配慮します。

★ コロナ対応の想定

・感染対策の実施

(演出の見直し、登壇者等のソーシャルディスタンスの確保等)

<参考> 島根県：音楽隊の生演奏を録音対応に切り替え、アトラクションを録画映像に切り替え など

## 2 式典演出計画

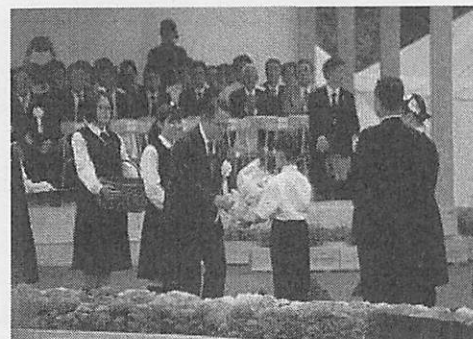
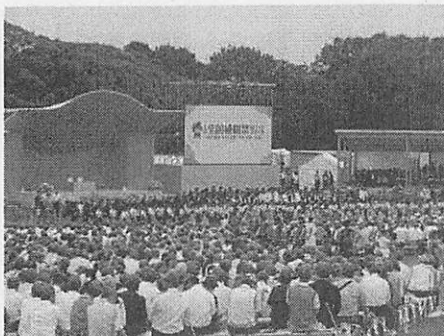
式典の構成は、プロローグ、記念式典、エピローグの3部構成とします。

区分	演出テーマ	内容
プロローグ	【過去を知る】 「森林・びわ湖・人のハーモニー」	400万年前から続く母なるびわ湖、父なる森林、そして県民たちのかかわりを、県民パフォーマンスで情緒豊かに表現
記念式典	【今、誓う】 「～ひとしずくから始まる～ びわ湖水源の森林づくりへの誓い」	森-川-里-湖のつながり、森林・びわ湖・人のかかわりを讃え、びわ湖を育む水源の森林づくりへの県民の誓い
エピローグ	【未来へつなぐ】 「次世代につながる森林に思いをさせて」	次世代につながる森林づくりへの思いを、滋賀県の未来を担う若い世代と今活動している県民たちが未来へつなぐ大フィナーレ

## 3 式典運営計画

式典の運営は、次の事項を基本とし、滋賀県らしさを感じていただける運営を行います。

- 参加者の安全性、快適性に十分配慮し、緑の少年団やボランティア等の方々の協力を得ながら行います。
- 司会者、アシスタント、式典音楽隊の出演者等については、地元団体をはじめ県内の関係団体等の積極的な協力と参加を得て編成します。



参考例：第70回全国植樹祭愛知大会

## 第2章 式典行事計画

### 4 式典進行プログラム

①素案で一部追加・修正

(1) プログラム ※今後の検討状況により、適宜加筆修正を行います。

時間	区分	プログラム	進行内容
	イントロダクション	来場者の歓迎、滋賀県の紹介等	
45分程度	プロローグ	プロローグアトラクション	●演出テーマ【過去を知る】 「森林・びわ湖・人のハーモニー」
		感謝状の贈呈	「大会テーマ」、「シンボルマーク」、「大会ポスター原画」感謝状贈呈
		記念切手の贈呈	国土緑化運動記念切手贈呈
		記念式典の案内	
50分程度	記念式典	天皇皇后両陛下 御着席	
		開会のことば	国土緑化推進機構副理事長
		三旗掲揚・国歌斉唱	
		主催者挨拶	大会会長(衆議院議長)、滋賀県知事
		天皇陛下のお言葉	
		表彰	緑化功労者などへの感謝の表彰
		苗木の贈呈	緑の少年団から、農林水産大臣、環境大臣等に苗木を贈呈
		天皇皇后両陛下お手植え・お手播き 代表者記念植樹	
		大会テーマの表現	●演出テーマ【今、誓う】 「～ひとしずくから始まる～ びわ湖水源の森林づくりへの誓い」
		大会宣言	国土緑化推進機構理事長
		リレーセレモニー	次期開催県への引き継ぎ (大会シンボル「木製地球儀」の受け渡し)
		閉会のことば	滋賀県議会議長
	天皇皇后両陛下 御退席		
30分程度	エピローグ	エピローグアトラクション	●演出テーマ【未来へつなぐ】 「次世代につながる森林に思いをはせて」

① 素案で追加

(2) 登壇者一覧 ※今後の検討状況により、適宜加筆修正を行います。

No.	登壇者名	登壇場面等
1	大会会長(衆議院議長)	①天皇皇后両陛下 御到着・御徒歩・御着席 ②主催者挨拶 ③表彰(国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール) ④天皇皇后両陛下 御退席・御徒歩・御出発
2	(公社)国土緑化推進機構理事長	①天皇皇后両陛下 御到着・御徒歩・御着席 ②天皇皇后両陛下 お手植え・お手播き ③大会宣言 ④天皇皇后両陛下 御退席・御徒歩・御出発
3	滋賀県知事	①感謝状贈呈 ②記念切手贈呈 ③天皇皇后両陛下 御到着・御徒歩・御着席 ④主催者挨拶 ⑤表彰(滋賀県緑化功労者等) ⑥天皇皇后両陛下 お手植え・お手播き ⑦リレーテレビモニ ⑧天皇皇后両陛下 御退席・御徒歩・御出発
4	農林水産大臣	①表彰(緑化功労者) ②苗木の贈呈
5	文部科学大臣	①表彰(全日本学校関係緑化コンクール) ②苗木の贈呈
6	環境大臣	①苗木の贈呈
7	(公社)国土緑化推進機構副理事長	①開会のことば
8	岩手県知事	①リレーテレビモニ・次期開催県知事挨拶
9	滋賀県議会議長	①開会のことば
10	甲賀市長	①開催市長挨拶 ②苗木の贈呈
11	苗木の贈呈代表者 ○琵琶湖・淀川流域の関係者【調整中】 ○森-川-里-湖1代表者 ・滋賀県森林組合連合会代表理事 会長 ・滋賀県河川漁業協同組合連合会代表理事 会長 ・滋賀県農業協同組合中央会代表理事 会長 ・滋賀県土地改良事業団体連合会代表理事 会長 ・滋賀県漁業協同組合連合会代表理事 会長	①苗木の贈呈
12	受賞者(表彰) ・国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール 入賞者代表 ・緑化功労者代表 ・全日本学校関係緑化コンクール入賞校代表 ・滋賀県緑化功労者等代表	①表彰
13	受賞者(感謝状) ・大会テーマ ・大会ソング ・大会ポスター原画	①感謝状贈呈
14	日本郵政株式会社 代表執行役社長	①記念切手贈呈

## 第2章

## 式典行事計画

(3) 出演者一覧 ※今後の検討状況により、適宜加筆修正を行います。

①素案で追加

項目	人数	内訳	
総合司会	1名	○アナウンサー	
手話通訳・要約筆記	6名	○滋賀県立聴覚障害者センター	
式典進行役	3名	○滋賀県高等学校文化連盟(放送部会) ・学校法人聖パウロ学園光泉カトリック高等学校	
式典アシスタント	20名	○滋賀県立大津商業高等学校 ○滋賀県立八幡商業高等学校	
式典音楽隊(吹奏楽)	100名	○滋賀県高等学校文化連盟(吹奏楽部会) ・滋賀県立甲西高等学校 ・滋賀県立石部高等学校	
式典音楽隊(合唱)	70名	○滋賀県高等学校文化連盟(合唱部会) ・滋賀県立膳所高等学校 ・滋賀県立石山高等学校 ・滋賀県立水口東高等学校 ・滋賀県立安曇川高等学校 ・滋賀県立日野高等学校 ・滋賀県立八日市高等学校 ・滋賀県立能登川高等学校 ・学校法人延暦寺学園比叡山高等学校 ・学校法人聖パウロ学園光泉カトリック高等学校 ・学校法人ヴォーリス学園近江兄弟社高等学校 ・学校法人幸福の科学学園関西高等学校 ・学校法人MIHO美学院中等教育学校	
式典 出演者	国歌斉唱	8名	○びわ湖ホール声楽アンサンブル
	よし笛演奏	10名	○よし笛奏者【検討中】
	介添え 三旗掲揚 苗木の贈呈 大会宣言	105名	○緑の少年団 ・大津緑の少年団 ・田根みどりの少年団 ・近江八幡市緑の少年団 ・守山市緑の少年団 ・伴谷小緑の少年団 ・柏木小緑の少年団 ・水口小緑の少年団 ・貴生川小緑の少年団 ・綾野小緑の少年団 ・伴谷東小緑の少年団 ・大野小緑の少年団 ・土山小緑の少年団 ・大原緑の少年団 ・油日緑の少年団 ・佐山緑の少年団 ・甲南第一小緑の少年団 ・甲南第二小緑の少年団 ・甲南第三小緑の少年団 ・甲南中部小緑の少年団 ・希望ヶ丘小緑の少年団 ・雲井小緑の少年団 ・小原小緑の少年団 ・朝宮小緑の少年団 ・多羅尾小緑の少年団 ・信楽小緑の少年団 ・甲賀市内緑の少年団(卒業生) ・野洲キッド緑の少年団 ・安曇川緑の少年団 ・新旭フラワーパトロール ・永源寺緑の少年団 ・竜王町緑の少年団 ・多賀kids緑の少年団 ・大滝緑の少年団 ○日本ボーイスカウト滋賀連盟 ○一般社団法人ガールスカウト滋賀県連盟
	イントロダクション プロローグ アトラクション 大会テーマの 表現 エピローグ アトラクション	1,058名	○ナビゲーター【検討中】 ○水口まつり保存振興会 ○ストーリーテラー(子役)【検討中】 ○滋賀洋舞協会 ○小学生合唱団【検討中】 ○メッセージ発信者【検討中】 ○甲賀市内緑の少年団 ○KOUGA彩風舞人 ○活動発表者(3団体)【検討中】
	合計	1,381名	



(4) 式典演出の概要

プロローグアトラクション

【過去を知る】「森林・びわ湖・人のハーモニー」

【概要およびイメージ図を記載】

記念式典

【お手植え・お手播き、苗木の贈呈、リレーセレモニー等】

【概要およびイメージ図を記載】

②中間案で追加予定

記念式典 メインアトラクション(大会テーマの表現)

【今、誓う】「～ひとしづくから始まる～ びわ湖水源の森林づくりへの誓い」

**【概要およびイメージ図を記載】**

エピローグアトラクション

【未来へつなぐ】「次世代につながる森林に思いをはせて」

**【概要およびイメージ図を記載】**

## 5 音響・映像システム計画

①素案で追加

### (1) 音響

- 屋外であるという会場の特性を考慮し、演出内容にふさわしい音響効果が得られるよう、適切な場所にスピーカーを設置します。
- 集音マイクは風対策を施し、質の高い音を再現します。



スピーカー

参考例: 第70回全国植樹祭愛知大会

### (2) 映像

- 大型映像装置を配置し、式典中どの位置の招待者からでも式典の状況が視認できるようにします。
- 大型映像を使って、式典プログラムの構成や演出を効果的に表現します。
- 特別招待者席にはモニターを設置し、大型映像装置と同じ映像を放映します。



大型映像装置

参考例: 第70回全国植樹祭愛知大会

6 式典演出準備スケジュール

②中間案で一部修正予定

年度		令和3年度											令和4年度				
月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
全体						開催日決定		実施本部設置					実施計画策定				
演出関係	構成・演出	構成・演出内容の決定							式典台本の作成・修正								
	式典演技	演技内容の決定							演技内容の具体化								
	式典音楽	楽曲検討・決定			楽譜作成・調達							録音					
	映像ソフト	映像構成の検討・素材収集							映像制作								
	音響・映像システム	使用機器・システム計画							システム設計作成・調整								
出演者関係	式典アシスタント	アシスタントの検討・決定							研修・練習								
	介添え	介添え者の検討・決定							研修・練習								
	音楽隊・出演者	出演団体の検討・決定 指導者打合せ							研修・練習								
資料関係	登壇者行動表	登壇者行動表の検討					登壇者行動表の作成・調整										
	出演者行動表	出演者行動表の検討					出演者行動表の作成・調整										
	リハーサル計画	各リハーサル計画の検討					各リハーサル計画の作成・調整										
	マニュアル	各マニュアルの検討					各マニュアルの作成・調整										

リハーサル  
式典（月）日・総合（月）日・荒天（月）日・前日（月）日

開催日は  
日程決定後  
に記載



## 1 基本的な考え方

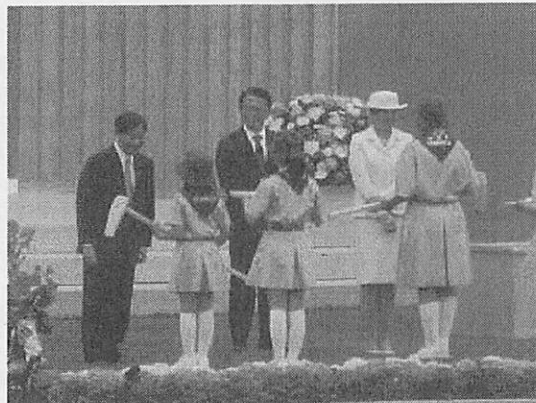
①素案で一部追加

- 将来目指すべき森林の姿をイメージした上で、本県の気候風土や立地条件に適した樹種を選定します。
- 植樹用の苗木は、県内で採取した種子等により育成したものをを使用することを基本とします。また、「苗木のホームステイ」などにより、苗木づくりの段階から子ども県内および琵琶湖・淀川流域の一般の方や企業・団体等の皆さんにも参加していただきます。
- 県内の小学校4年生を対象とした森林環境学習「やまのこ」事業とも連携し、苗木を育成してもらう「苗木のスクールステイ」を実施します。
- 植樹の際には、琵琶湖の水草を原料とする堆肥や浄水場で発生した土を活用することで、森林と琵琶湖とのつながりや琵琶湖を取り巻く環境保全への取組、資源の有効活用の大切さを全国に発信します。
- 県民の皆さんとの協働による森林づくり活動の拡大につなげていく契機とするため、緑の少年団や植樹指導を行うボランティアをはじめ、子どもや高齢者、障害者など、できるだけ多くの方々が参加できるよう配慮します。

★ コロナ対応の想定  
 ・感染対策の実施  
 (植樹用具の消毒、植樹時のソーシャルディスタンスの確保等)

## 2 お手植え計画

- 天皇皇后両陛下のお手植えは、本県にゆかりのある樹種のうち、それぞれ3種の樹種とします。
- お手植えされた記念樹は、第72回全国植樹祭の開催を記念し、琵琶湖を育む豊かな森林づくりのシンボルとして、大切に管理・育成していきます。





参考例：第70回全国植樹祭愛知大会

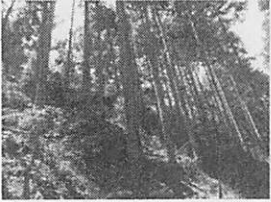


★ コロナ対応の想定  
 ・植樹行事の運営方法見直しの可能性あり  
 (参考)島根県  
 介添え役から両陛下への用具の手渡し  
 取りやめ(用具台を介してお渡し) など

基本構想・基本計画で検討済み  
(加筆修正は可能)

■ 天皇陛下お手植え樹種 3種

樹種	樹種	特徴・選定理由など
スギ (少花粉)		<p>【滋賀県の林業における主要樹種】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スギは滋賀県の人工林面積の半分以上を占め、滋賀県の林業における主要な樹種です。</li> <li>・滋賀県で選抜された花粉の飛散量の少ないスギ「蒲生1号」など、滋賀県では独自に少花粉スギの調査・開発を進めています。</li> <li>・滋賀県で生産する少花粉スギは、滋賀県の人工林の未来を担うものとして期待されています。</li> </ul>
トチノキ		<p>【滋賀県北部に巨木林が存在する樹種】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・滋賀県指定天然記念物となっている高島市の「朽木のトチノキ巨木林」や、長浜市で県内最大の巨木が確認されるなど、県北部にはトチノキの巨木が数多く見られます。</li> <li>・トチノキの実実は昔から大切な食材として利用されてきました。トチノキの実を餅米に混ぜて作るトチ餅は、今でも滋賀県で食べられています。</li> </ul>
アカガシ		<p>【曳山の材料として使われる樹種】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材が赤みを帯びていることからアカガシと呼ばれ、重硬で木目が美しく、建築、器具、楽器などに用いられます。</li> <li>・国の重要無形民俗文化財に指定されている大津祭で使われる曳山の車輪にその材が利用されているなど、滋賀県の文化と深い関わりがあります。</li> <li>・カシ類は暖かい地域に自生する樹木ですが、アカガシは県北部の南斜面にも自生し、「新・日本名木百選」に選ばれた長浜市の「黒田のアカガシ」などの巨木も多く見られます。</li> </ul>

■ 皇后陛下お手植え樹種 3種

樹種	樹種	特徴・選定理由など
ヒノキ		<p>【第26回大会のお手植え・お手播き樹種】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒノキは、スギの次に滋賀県の人工林面積を占める樹種であり、滋賀県の林業を担う樹種です。</li> <li>・昭和50年に滋賀県で開催された第26回全国植樹祭において、昭和天皇がお手植え・お手播きされました。</li> <li>・甲賀市は県内で最もヒノキ人工林面積が大きく、地域の銘柄「甲賀ヒノキ」の産地として知られています。</li> </ul>
イロハモミジ		<p>【滋賀県の「県の木」】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・滋賀県に多く見られる樹種であり、「モミジ」は滋賀県の「県の木」として県民に広く親しまれています。</li> <li>・昭和50年に滋賀県で開催された第26回全国植樹祭において、香淳皇后がお手植え・お手播きされました。</li> <li>・紅葉が非常に美しい樹種の一つであり、県内には紅葉の名所がたくさんあります。</li> </ul>
エドヒガン		<p>【春に紅色や淡紅色の美しい花をつける樹種】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月上旬に紅色や淡紅色の美しい花をつける桜の木です。ソメイヨシノの母種にあたる樹種でもあります。</li> <li>・滋賀県では高島市の山麓地帯に多く見られ、特に百瀬川流域には自生のエドヒガンが群生し、全国的にも珍しい地域です。</li> <li>・長寿であることが知られ、滋賀県指定自然記念物となっている高島市の「清水の桜」など、県内にはエドヒガンの巨木が見られます。</li> </ul>

②中間案で追加予定

■ お手植え樹種配置図

【お手植え樹種配置図を記載】

■ お手植え標準図

【お手植え標準図を記載】





参考例：第70回全国植樹祭愛知大会

①素案で一部追加



3 お手播き計画

- 天皇皇后両陛下のお手播きは、滋賀県の森林にゆかりのある樹種のうち、お手播き箱へそれぞれ2種の播種とします。
- お手播きされた種子から養成した苗木は、滋賀県が管理・育成し、県内の公共施設等に「記念樹」として配布します。

■ 天皇陛下お手播き樹種 2種

樹種		特徴・選定理由など
クロマツ		<p>【滋賀県の琵琶湖岸に見られる樹種】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クロマツは滋賀県の琵琶湖岸に多く見られる樹種で、「ハマヒルガオ」や「ハマゴウ」などの海浜性の植物とともに自生しています。</li> <li>・大津市にある唐崎神社の「唐崎の松」は、近江八景の一つである「唐崎の夜雨」や、松尾芭蕉の「辛崎の松は花より臙にて」という句でもよく知られています。</li> </ul>
コウヤマキ		<p>【琵琶湖水運の文化と繋がりがある樹種】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コウヤマキは水や湿気に強い材質で知られ、和船の材料や橋梁などの構造物に使われていました。琵琶湖水運の丸子船に使われた檣材もコウヤマキを指していると考えられています。</li> <li>・県内にはコウヤマキの巨木が見られます。特に、甲賀市には滋賀県指定天然記念物となっている「玉桂寺のコウヤマキ」や滋賀県指定自然記念物となっている「油日神社のコウヤマキ」といった国内最大級の巨木があります。</li> </ul>

■ 皇后陛下お手播き樹種 2種

樹種		特徴・選定理由など
ウツクシマツ		<p>【滋賀県に自生する形の珍しい樹種】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アカマツの変種であり、樹皮、葉、球果はアカマツと同じですが、根近くから多くの枝をほうき状に出し、傘形をした特徴的な樹幹を形成する樹種です。</li> <li>・湖南市の「平松のウツクシマツ自生地」は国の天然記念物に指定されており、その美しい景観から多くの人が見学に訪れています。「平松のウツクシマツ自生地」は、江戸時代に刊行された名所案内書「伊勢参宮名所図会」や「東海道名所図会」などに掲載されていることから、その時代から既にウツクシマツの美林があったと考えられています。</li> </ul>
ホンシャクナゲ		<p>【滋賀県の「郷土の花」】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「シャクナゲ」は滋賀県の「郷土の花」として県民に広く親しまれています。枝先に淡紅色の美しい花を咲かせます。</li> <li>・日野町の「鎌掛谷ホンシャクナゲ群落」は、高地性のシャクナゲが低地で群生していることが大変珍しいため国の天然記念物に指定されており、4月下旬から5月上旬の開花時期にはホンシャクナゲを觀賞する多くの人で毎年賑わいます。</li> </ul>



■ お手播き樹種配置図

【お手播き樹種配置図を記載】



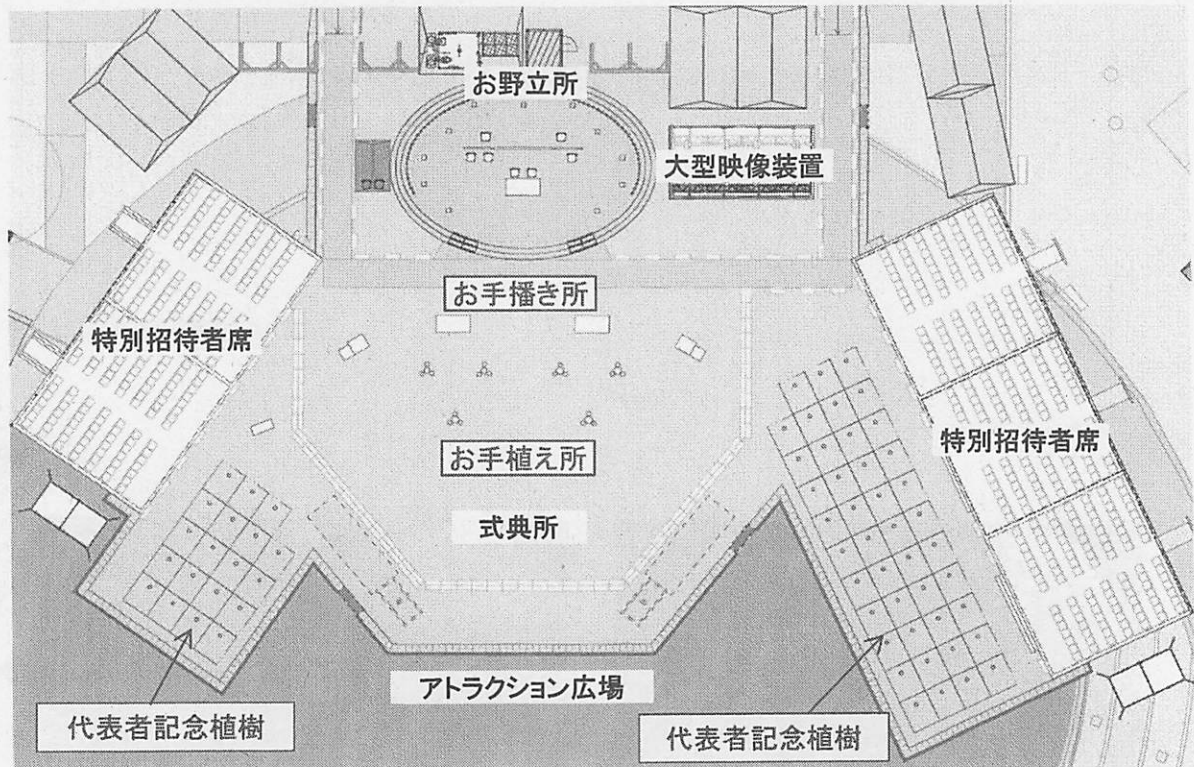
参考例：第70回全国植樹祭愛知大会

4 代表者記念植樹計画

①素案で一部追加

- 代表者は、天皇皇后両陛下の2本目のお手植えと同時に記念植樹を行います。
- 場所は、式典会場内で行うものとします。
- 代表者記念植樹の樹種は、天皇皇后両陛下のお手植えと同じ樹種とします。

<お手植え所・お手播き所および代表者記念植樹配置図 >



### 5 招待者記念植樹計画

- 招待者記念植樹は、県内外からの招待者が、1人1本以上の記念植樹を行います。
- 招待者は大会前日および当日の式典前後に分かれて植樹を行います。
- 滋賀県の気候風土や会場特性に適した樹木を植樹します。

<招待者記念植樹樹種>

会場名	所在地	主な樹種	
鹿深夢の森 (式典会場併設)	甲賀市	【循環型林業】 スギ(少花粉)、ヒノキ	計2種
比叡山	大津市	【循環型林業】 アカマツ(抵抗性)、クロマツ	計2種
油日林木育種場	甲賀市	【林木育種】 アカマツ(抵抗性)、スギ(少花粉)、ウツクシマツ	計3種
みなくち子どもの森	甲賀市	【森林環境学習】 オニグルミ、クリ、アベマキ、カシワ、クヌギ、コナラ、 ナラガシワ、エノキ、ケヤキ、ムクノキ、カツラ、タムシバ、 ホオノキ、クロモジ、ノリウツギ、ウツギ、センダン、 キハダ、ウリハダカエデ、メグスリノキ、ムクロジ、エゴノキ、 タニウツギ	計23種
希望が丘文化公園	野洲市	【自然観察】 アカマツ(抵抗性)、クヌギ、コナラ、クロモジ、ウツギ、 ウワミズザクラ、ヤマザクラ、イロハモミジ、コバノミツバツツジ、 マルバアオダモ、ムラサキシキブ、ガマズミ	計12種
東近江市新出町	東近江市	【里山再生】 オニグルミ、ハンノキ、クヌギ、コナラ、カツラ、ホオノキ、 クロモジ、ノリウツギ、ナナカマド、キハダ、イロハモミジ、 ウリハダカエデ、ヤブムラサキ、ガマズミ、コバノガマズミ	計15種

※苗木総本数10,0007,500本

<招待者記念植樹スケジュール>

招待者区分	植樹会場	スケジュール
県外特別・一般招待者		
県内特別・一般招待者		

**【招待者記念植樹のスケジュールを記載】**

6 植樹要領

②中間案で追加予定

(1) 広葉樹

- 
- **【植樹要領(手順)を記載】**
- 

<植樹要領図>

**【植樹要領図(植樹イメージ図)を記載】**

②中間案で追加予定

(2) 針葉樹

- 
- **【植樹要領(手順)を記載】**
- 

<植樹要領図>

**【植樹要領図(植樹イメージ図)を記載】**

7 植樹会場整備計画

②中間案で追加予定

(1) 鹿深夢の森(式典会場併設)

【植樹会場配置図を記載】

【現 状】

【植樹会場の現状および整備方針を記載】

【整備方針】

(2) 比叡山

⋮

(3) 油日林木育種場

⋮

(4) みなくち子どもの森

⋮

(5) 希望が丘文化公園

⋮

(6) 東近江市新出町

⋮